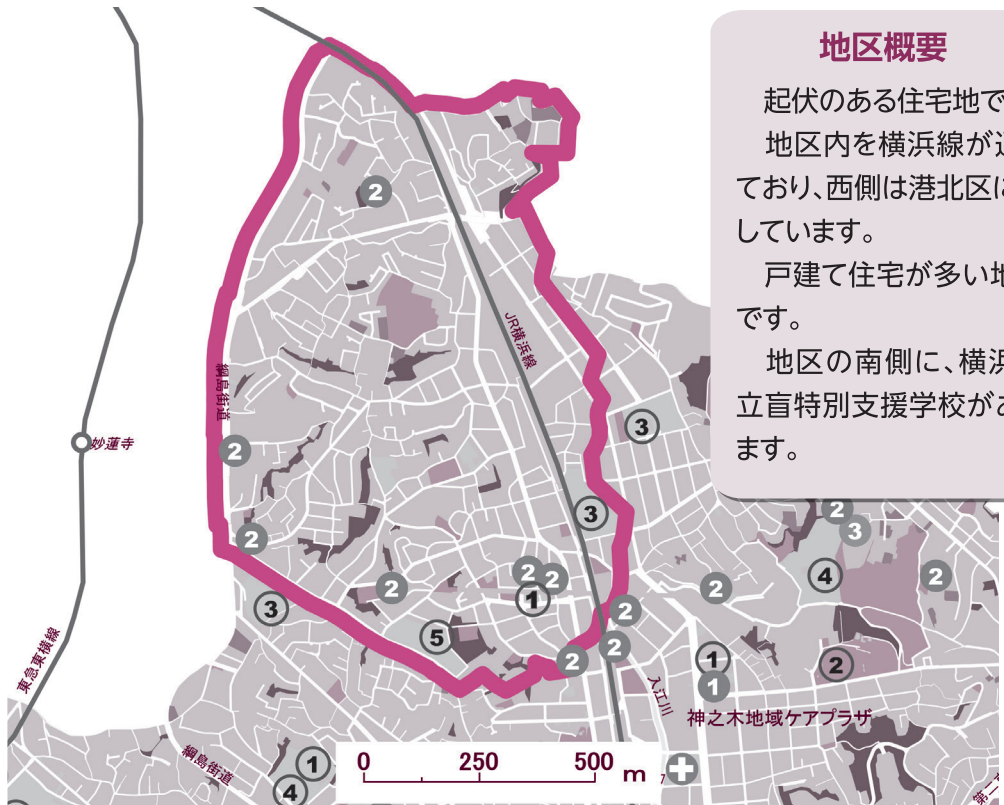




# 松見地区

- ① 集会施設、文化施設  
地区センター等
- ② スポーツ施設
- ③ 小学校
- ④ 中学校
- ⑤ 高校
- ⑥ 大学
- ① 地域ケアプラザ  
地域包括支援センター
- ② 保育所・幼稚園  
子育て支援拠点
- ③ 高齢者施設
- ④ 障害者施設
- ⑤ その他の福祉  
保健施設
- ⊕ 病院
- 樹林地
- 農地
- 公園
- 文教厚生施設用地



## 地区概要

起伏のある住宅地です。  
地区内を横浜線が通っており、西側は港北区に接しています。  
戸建て住宅が多い地区です。  
地区の南側に、横浜市立盲特別支援学校があります。

## 地区基礎データ

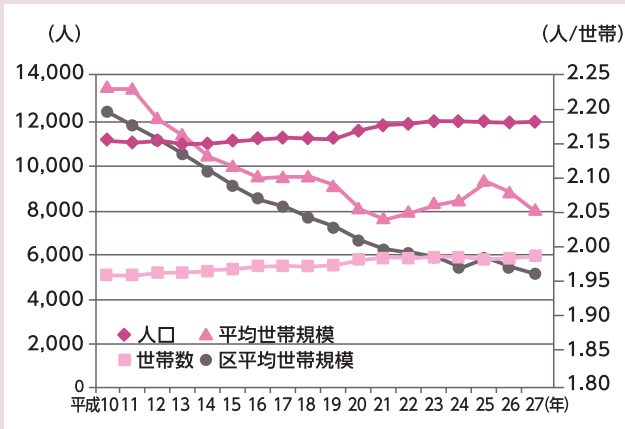
### ●人口、世帯数等の概況(平成27年3月現在)

	松見地区	神奈川区
<b>総人口</b>	11,858 人	232,788 人
0～14歳	1,417 人(11.9%)	27,667 人(11.9%)
15～64歳	8,032 人(67.7%)	155,501 人(66.8%)
65歳～	2,409 人(20.3%)	49,620 人(21.3%)
<b>総世帯数</b>	5,773 世帯	118,697 世帯
平均世帯規模	2.05 人/世帯	1.96 人/世帯
65歳以上一人暮らし世帯	704 世帯(12.2%)	15,662 世帯(13.2%)

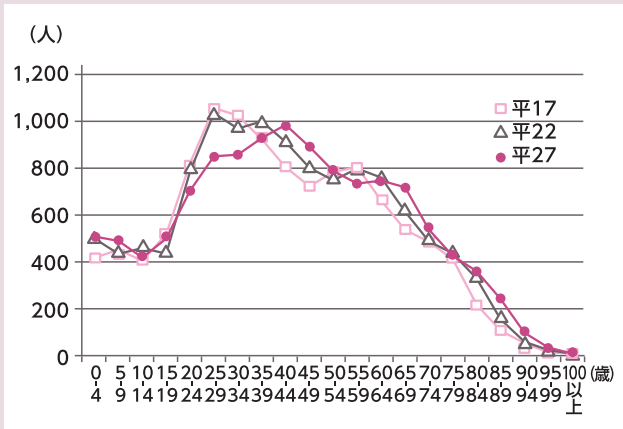
人口、世帯総数は安定しています。20～24歳が転入増加する傾向があり、25～49歳が多い年齢構成になっていますが、年齢構成の偏りが少なくバランスがとれています。

平均世帯規模は区の平均より大きくなっています。

### ●人口、世帯数、平均世帯規模の動向



### ●年齢5歳別人口の動向



\*「町別世帯と男女別人口」、「町丁別年齢別男女別人口」による。各年3月末現在

# 笑顔であいさつ松見町、住んでよかった松見町

～世代を超えて人・組織が活動し、支え合うまち～  
～身近な支え合いでつくる笑顔と安心のまち、松見～

## これまでの取組

- ✦ サロンやおたのしみ会、食事会、防災訓練などを通じて、地域情報の共有化を図ってきた。さらに顔の見える関係づくりにもつながった。
- ✦ 災害時要援護者支援やふれあい訪問等の取組を通じ、いざという時だけでなく、日ごろからの見守り体制を作ってきた。
- ✦ 一方で地域行事に参加しない人・できない人もあり、これまでの取組を継続・充実させながら、魅力的な行事の開催や災害時の対応・備えを進めるとともに、身近な支え合いの仕組と場づくりに取り組んでいくことが求められている。

## 目標1 支え合いの仕組と場をつくる

ちょっとした困りごとを地域のボランティアで支え合い、身近な隣近所・班の普段のつきあいがら助け合える仕組をつくる。

- ◆ 人・組織・物的資源を発掘し、それらを把握したニーズへの対応に活かせるよう整理する。
- ◆ 中高生によるボランティア活動の仕組づくりや「壮年会」の立ち上げを行い漏れていた世代を組織化するなどにより新たな人材を発掘し、地域のまちづくりに参加してもらう。
- ◆ ボランティア同士の交流やボランティアをバックアップする仕組(たまり場・事務局)をつくる。
- ◆ 松見地区社協が中心となってバックアップ体制を整え、ボランティアの発掘や交流、マッチングなどの取り組みを充実させる。

## 目標2 災害時の対応を充実させる

単町レベルでの自主防災組織の活動をさらに活性化させ、災害時の共助の仕組をより一層充実させる。

- ◆ 身近な人同士の顔の見える関係づくりを進め、「地域防災拠点」と連動した減災計画を創る。
- ◆ 「災害時要援護者支援事業」「ふれあい訪問」などの活動を通じて、要援護者の把握を行い、普段からの安否確認や見守りを行う。

## 目標3 魅力ある行事を通じて地域の絆を強める

松見地区に深く根付いた3大行事(福祉演芸大会・盆踊り・ふるさと祭)を継承し、さらに、単町での魅力的な行事を充実させる。

- ◆ 食事会、サロンやおたのしみ会、趣味同好会などを企画運営し、出会いと居場所を提供する機会となるよう工夫する。
- ◆ 子ども会の行事を老人会が手伝ったり、高齢者の食事会に子どもが参加できるなど、世代を越えた行事や新たなイベントを工夫する。これらの行事・イベントの企画・運営・参加を通じて、情報交換・交流を活発にし、地域の絆を強める。



連合テーマソング「Hey!松見町」

介護予防の推進、健康寿命日本一を目指し、住民自ら取り組めるよう健康づくり活動を活性化する。